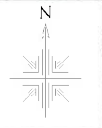


「鳥取方式」洪水浸水リスク図【日野川水系板井原川下流部、真住川下流部】

図郭16



凡例

- ~ 0.3m未満
- 0.3m ~ 0.5m未満
- 0.5m ~ 1.0m未満
- 1.0m ~ 3.0m未満
- 3.0m ~ 5.0m未満
- 5.0m ~ 10.0m未満
- 検討区間
- 洪水浸水想定区域図を作成予定
- 洪水浸水想定区域図を公表済み

<「鳥取方式」洪水浸水リスク図とは>

住民の皆様への適切な避難行動への一助とすることを目的として、鳥取県独自の懸忌手法（「鳥取方式」）により、全県的に洪水のリスクを評価し、洪水浸水リスク図として情報提供を行うものです。

なお、鳥取県内の水位周知河川等（注1）では、水防法に基づき、想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域を指定・公表しておりますので、「鳥取方式」洪水浸水リスク図では、水位周知河川等以外の県管理河川を対象としております。

（注1）洪水により相当の被害が生ずるものとして指定された河川 計23河川
 野赤川、大瀬川、徳野川、自谷川、清生川、小田川、河内川、福原川、八咫川、私野川、三徳川、東郷流、由良川、加茂川、田知成川、佐野川、種彦川、小松谷川、日野川、坂井原川

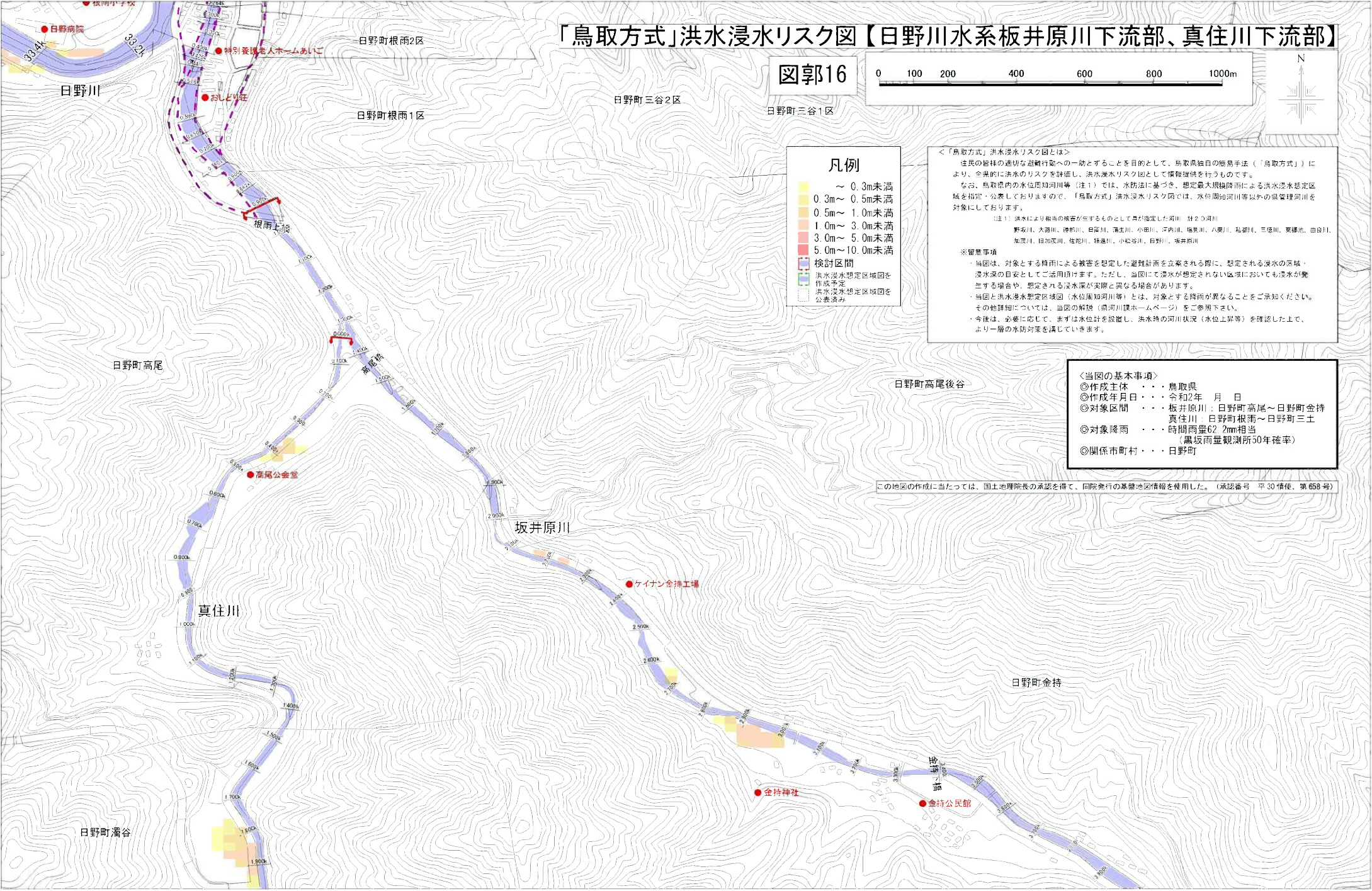
※留意事項

- ・当図は、対象とする降雨による被害を想定した避難計画を立案される際に、想定される浸水の区域・浸水深の目安としてご活用頂けず、ただし、当図にて浸水が想定されない区域においても浸水が発生する場合は、想定される浸水深が実際と異なる場合があります。
- ・当図と洪水浸水想定区域図（水位周知河川等）とは、対象とする降雨が異なることをご承知ください。その他詳細については、当図の解説（県河川課ホームページ）をご参照下さい。
- ・今後は、必要に応じて、まずは水位計を設置し、洪水時の河川状況（水位上昇等）を確認した上で、より一層の防水対策を講じていきます。

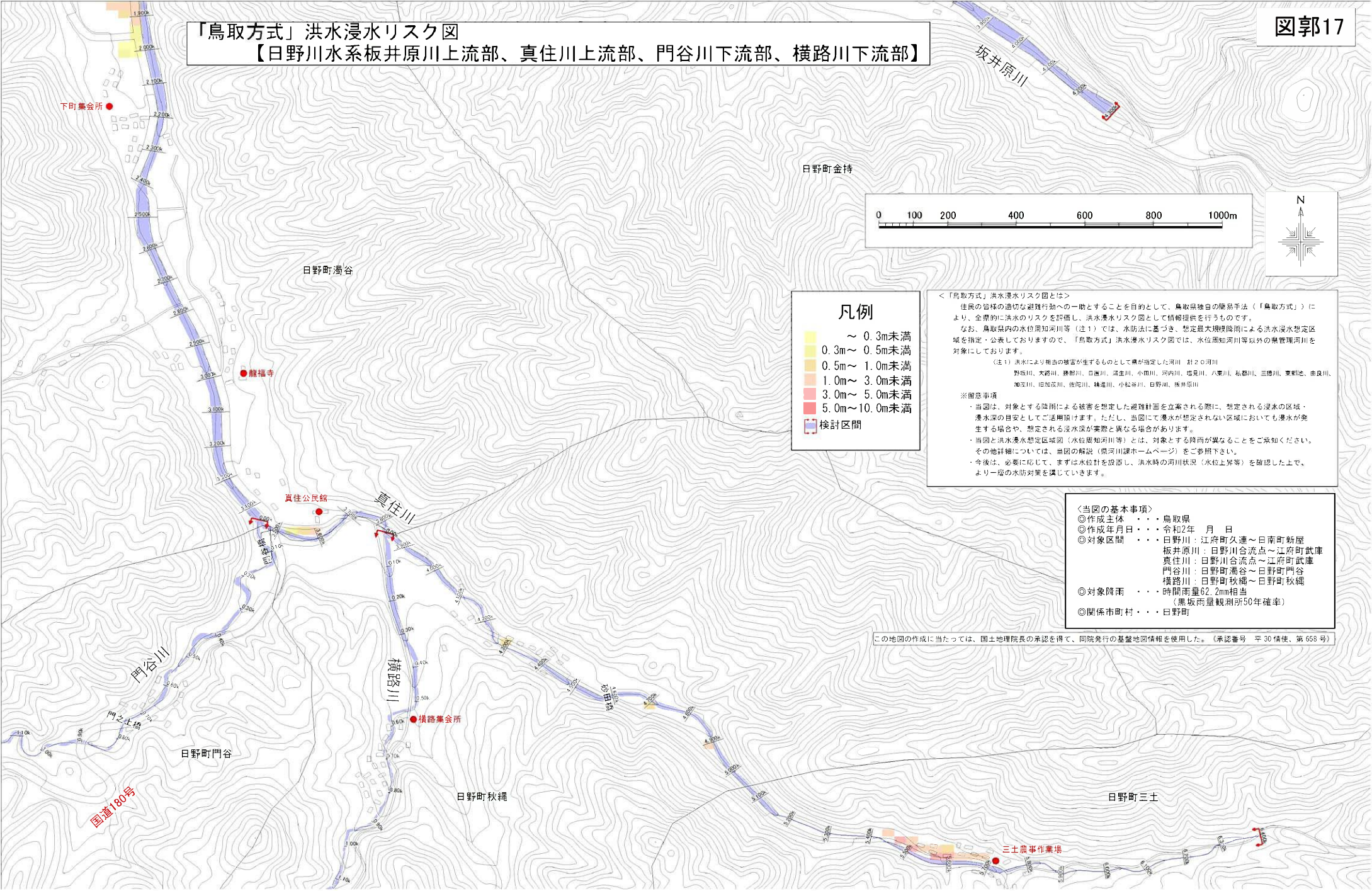
<当図の基本事項>

- ◎作成主体・・・鳥取県
- ◎作成年月日・・・令和2年 月 日
- ◎対象区間・・・板井原川：日野町高尾～日野町金持
 真住川：日野町根雨～日野町三土
- ◎対象降雨・・・時間雨量62.2mm相当
 （黒坂雨量観測所30年確率）
- ◎関係市町村・・・日野町

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用しました。（承認番号 平30情使、第658号）



「鳥取方式」洪水浸水リスク図 【日野川水系板井原川上流部、真住川上流部、門谷川下流部、横路川下流部】



凡例

- ~ 0.3m未満
- 0.3m ~ 0.5m未満
- 0.5m ~ 1.0m未満
- 1.0m ~ 3.0m未満
- 3.0m ~ 5.0m未満
- 5.0m ~ 10.0m未満
- 検討区間

＜「鳥取方式」洪水浸水リスク図とは＞
住民の皆様への適切な避難行動への一助とすることを目的として、鳥取県独自の簡易手法（「鳥取方式」）により、全県的に洪水のリスクを評価し、洪水浸水リスク図として情報提供を行うものです。
なお、鳥取県内の水位周知河川等（注1）では、水防法に基づき、想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域を指定・公表しておりますので、「鳥取方式」洪水浸水リスク図では、水位周知河川等以外の県管理河川を対象としております。

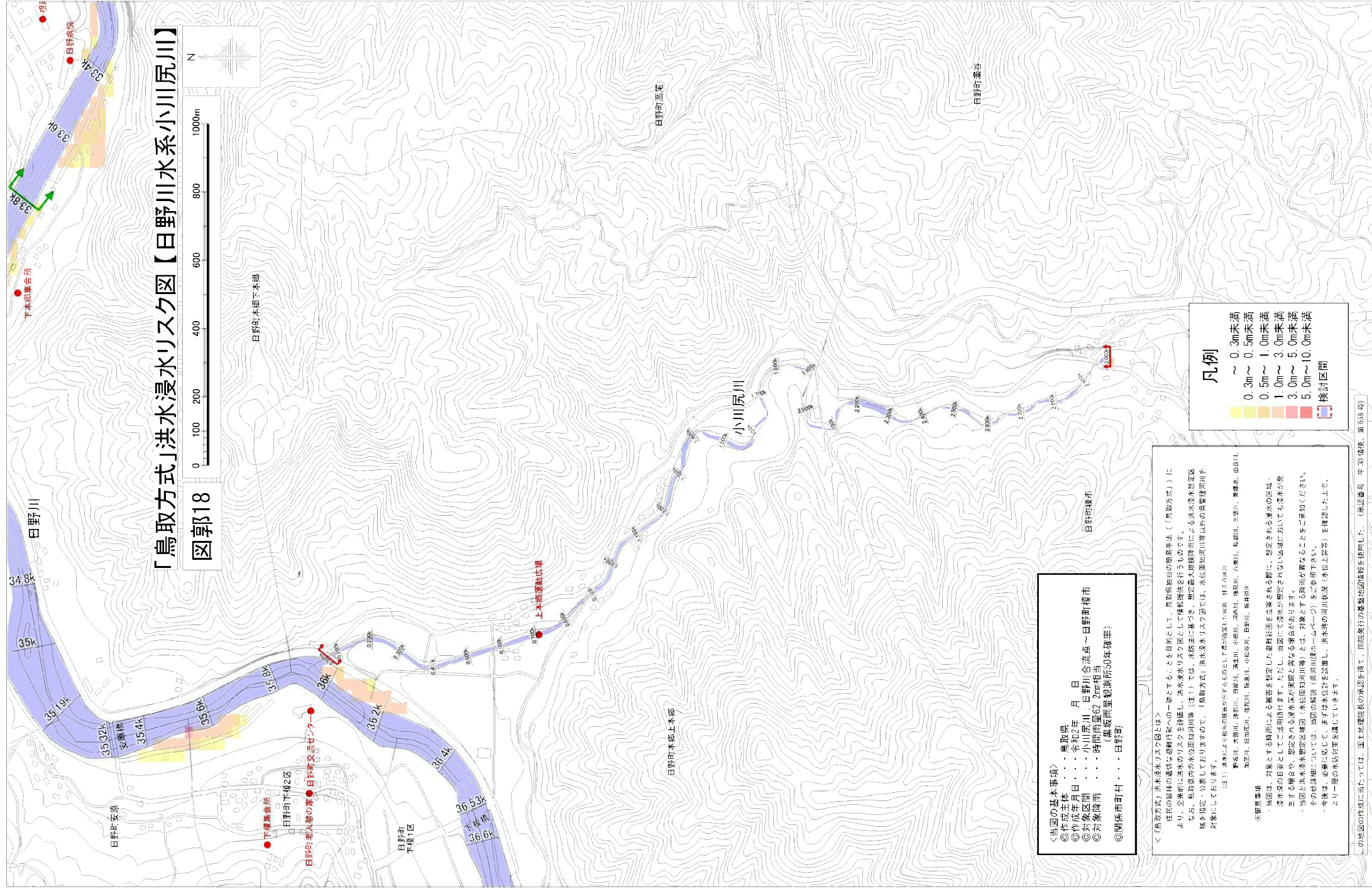
＜注1＞洪水により相当の被害が生ずるものとして県が指定した河川 計20河川
野坂川、木野川、藤野川、日野川、湖生川、小田川、河内川、堀見川、八雲川、私松川、三徳川、栗野池、由良川、加茂川、旧加茂川、後尾川、横道川、小松谷川、日野川、坂井原川

※留意事項
・当図は、対象とする降雨による被害を想定した避難計画を立構される際に、想定される浸水の区域・浸水深の目安としてご活用頂けます。ただし、当図にて浸水が想定されない区域においても浸水が発生する場合があります、想定される浸水深が実際と異なる場合があります。
・当図と洪水浸水想定区域図（水位周知河川等）とは、対象とする降雨が異なることをご承知ください。その他詳細については、当図の解説（県河川課ホームページ）をご参照下さい。
・今後は、必要に応じて、まずは水位計を設置し、洪水時の河川状況（水位上昇等）を確認した上で、より一層の水防対策を講じていきます。

＜当図の基本事項＞

- ◎作成主体・・・鳥取県
- ◎作成年月日・・・令和2年 月 日
- ◎対象区間・・・日野川：江府町久連～日南町新屋
坂井原川：日野川合流点～江府町武庫
真住川：日野川合流点～江府町武庫
門谷川：日野町濁谷～日野町門谷
横路川：日野町秋縄～日野町三土
- ◎対象降雨・・・時間雨量62.2mm相当
（黒坂雨量観測所50年確率）
- ◎関係市町村・・・日野町

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用した。（承認番号 平30信使、第658号）



「鳥取方式」洪水浸水リスク図【日野川水系小川尻川】

図郭18

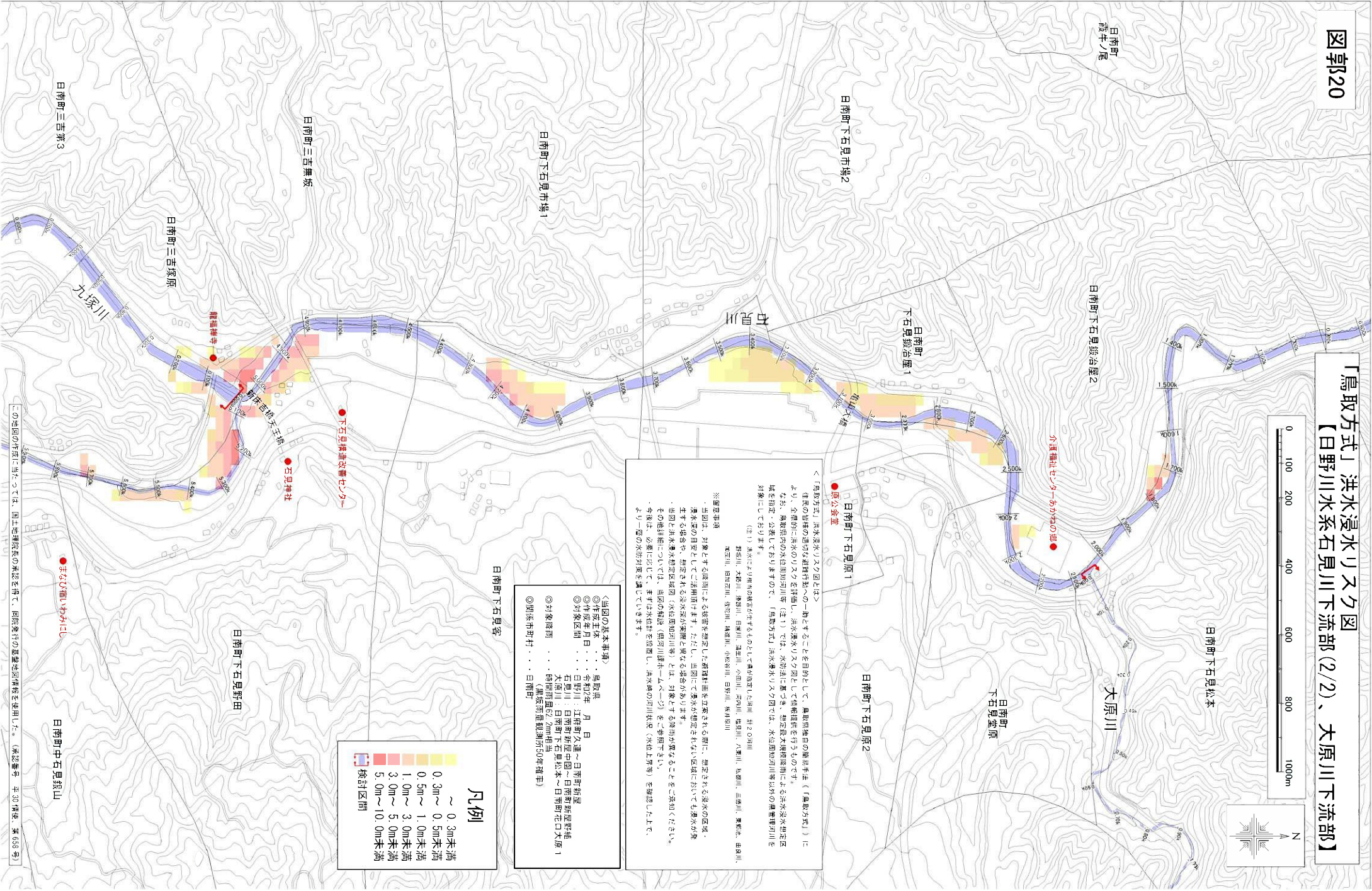
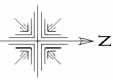


◎当国の基本事項
 ◎作成主体・・・鳥取県
 ◎作成年月日・・・令和2年 月 日
 ◎対象区間・・・小川尻川・日野川合流点～日野町橋市
 ◎対象降雨・・・時間雨量62.7mm相当
 (鳥取県浸水予測所50年確率)
 ◎関係市町村・・・日野町

<「鳥取方式」洪水浸水リスク図とは>
 住民の避難の場や避難行動への一切となることを自覚として、鳥取県独自の簡易手法（「鳥取方式」）により、企業等に洪水のリスクを顕視し、洪水浸水リスク図として情報提供を行うものです。
 なお、鳥取県内の水辺河川等（注1）では、水防法に基づき、想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域を指定、公表しており、その中で、「鳥取方式」洪水浸水リスク図では、水位高知頭川等以外の鳥取県河川を対象としており、注1の河川等（注2）を除くこととして、鳥取県として公表していません。
 ※留意事項
 ・当国は、対象とする流域における簡易な浸水予測した浸水範囲を立案される際に、想定される洪水の浸水浸水速の目安として活用されます。ただし、当図にて浸水が想定される区域においても浸水が必ず発生する可能性や、想定される浸水浸水速と異なる場合が必ずあります。
 ・当国と鳥取県水防防災課（原河川課）とは、対象とする浸水範囲を同一と見做すことをご通知ください。その他の詳細については、当国の解説（原河川課ホームページ）をご参照ください。
 ・本図は、必要に応じて、本図は浸水浸水速を顕視し、洪水浸水の河川状況（水位上昇等）を顕視した上で、より一層の浸水浸水速を顕視していただきます。

凡例

0.3m未満	0.3m未満
0.3m～0.5m未満	0.5m～1.0m未満
1.0m～3.0m未満	3.0m～5.0m未満
5.0m～10.0m未満	検討区間



＜「鳥取方式」洪水浸水リスク図とは＞
住居の被害の適切な進行防止への一助とすることを目的として、鳥取県独自の調査手法（「鳥取方式」）により、全県的に洪水のリスクを評価し、洪水浸水リスク図として情報提供を行うものです。
なお、鳥取県内の水位観測川等（注1）では、水防法に基づき、防災大規模浸水による洪水浸水想定区域を指定・公表しておりますので、「鳥取方式」洪水浸水リスク図では、水位観測川等以外の鳥取県内河川を対象としております。
（注1）洪水により河川の被害が生ずるとして県が指定した河川 計25河川
野田川、大原川、備前川、白雲川、石見川、小野川、高野川、八雲川、鳥取川、三島川、東郷川、由良川、大原川、日野川、備前川、備前川、備前川、備前川、備前川

※留意事項
当図は、対象とする区域による被害を想定した被害計画を立案される際に、想定される浸水の区域・浸水深の目安としてご活用いただけます。ただし、当図にて浸水が想定されたい区域に対しては浸水が発生する場合は、想定される浸水深が実際の浸水深と異なる場合があります。
当図は洪水浸水想定区域（水位観測川等）とは、対象とする河川が異なることをお知らせください。
その他詳細については、当図の解説（日野川流域ホームページ）を参照してください。
※ 現在は、必要に応じて、まずは水位観測川等（水位上昇等）を確認の上で、より一層の必要対策を検討していただきます。

- ＜当図の基本事項＞
- ◎調査年度・・・令和2年
 - ◎作成年月日・・・令和2年 月 日
 - ◎対象区域・・・日野川、江府新久運～日南新築屋、石見川、日南新折原中園～日南新折原築城、大原川、日南町下石見松本～日南町花ノ久原1（特別前年度2.7mm相当）、黒坂雨量観測所50年確率）
 - ◎対象河川・・・日野川
 - ◎調査実施村・・・日南町

凡例

黄色	～ 0.3m未滿
オレンジ	0.3m～ 0.5m未滿
赤	0.5m～ 1.0m未滿
暗赤	1.0m～ 3.0m未滿
黒赤	3.0m～ 5.0m未滿
黒	5.0m～ 10.0m未滿

■ 検討区間

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用しました。（承認番号 平 30 情報 第 693 号）

「鳥取方式」洪水浸水リスク図【日野川水系石見川中流部】

図郭21



凡例

- ~ 0.3m未満
- 0.3m ~ 0.5m未満
- 0.5m ~ 1.0m未満
- 1.0m ~ 3.0m未満
- 3.0m ~ 5.0m未満
- 5.0m ~ 10.0m未満
- 検討区間

<「鳥取方式」洪水浸水リスク図とは>
 住民の皆様が適切な避難行動への一助とすることを目的として、鳥取県独自の簡易手法（「鳥取方式」）により、全県的に洪水のリスクを評価し、洪水浸水リスク図として情報提供を行うものです。
 なお、鳥取県内の水位周知河川等（注1）では、水防法に基づき、想定最大規模降雨による洪水浸水被害区域を指定・公表しておりますので、「鳥取方式」洪水浸水リスク図では、水位周知河川等以外の県管理河川を対象としております。

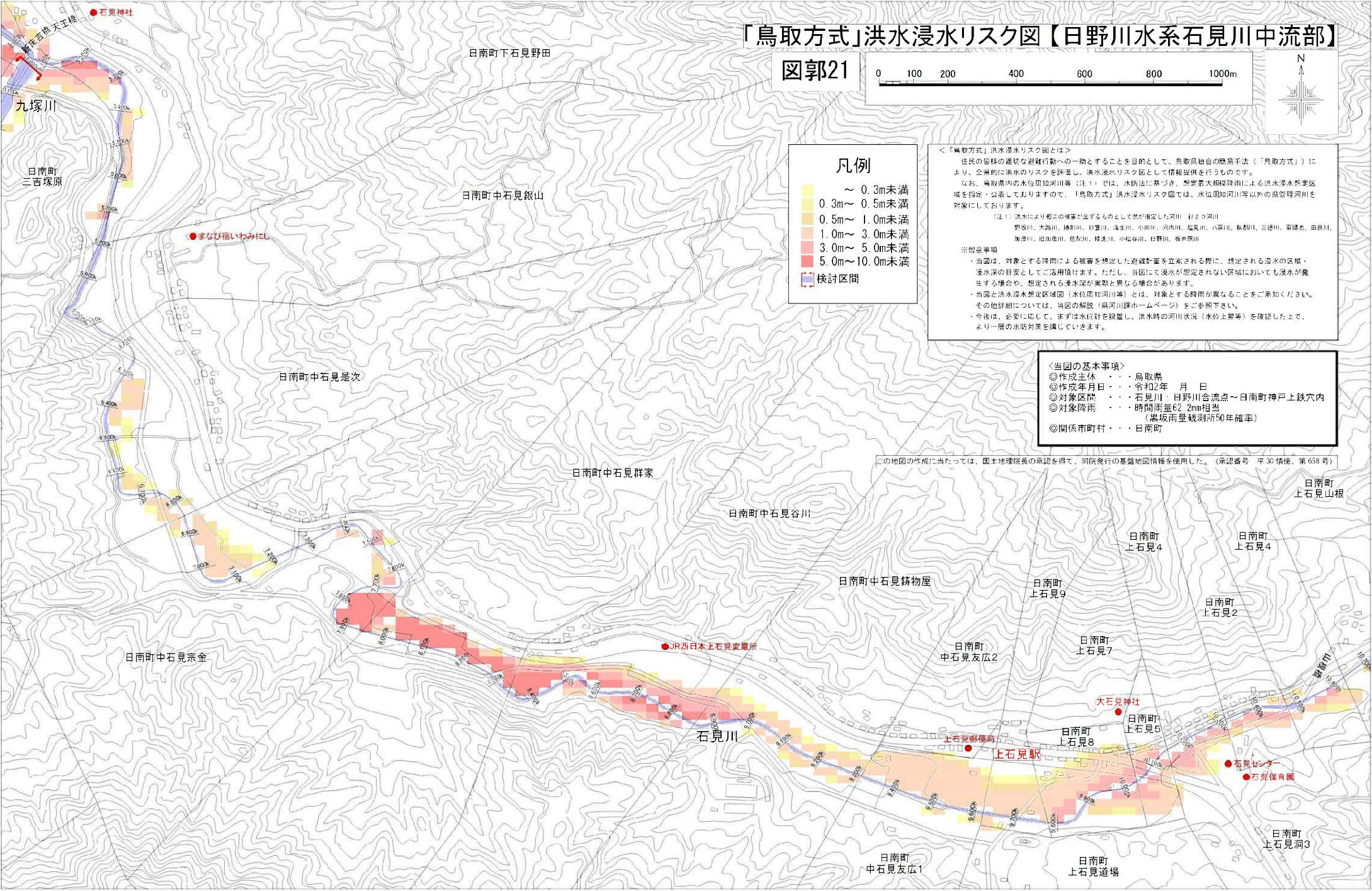
（注1）洪水により相対的被害が生ずるものとして指定した河川 計29河川
 野原川、大洲川、勝野川、日野川、海生川、小田川、河内川、堀見川、八坂川、秋瀬川、三徳川、粟津池、由良川、加茂川、田加茂川、佐加川、輝連川、小松谷川、日野川、坂井原川

※留意事項
 ・当図は、対象とする降雨による被害を想定した避難計画を立案される際に、想定される浸水の区域・浸水深の目安としてご活用頂けます。ただし、当図にて浸水が想定されない区域においても浸水が発生する場合がございます。想定される浸水深が実際と異なる場合があります。
 ・当図と洪水浸水想定区域図（水位周知河川等）とは、対象とする降雨が異なることをご承知ください。その他詳細については、当図の解説（県河川課ホームページ）をご参照下さい。
 ・今後、必要に応じて、まずは水位計を設置し、洪水時の河川状況（水位上昇等）を確認した上で、より一層の水防対策を講じていきます。

<当図の基本事項>

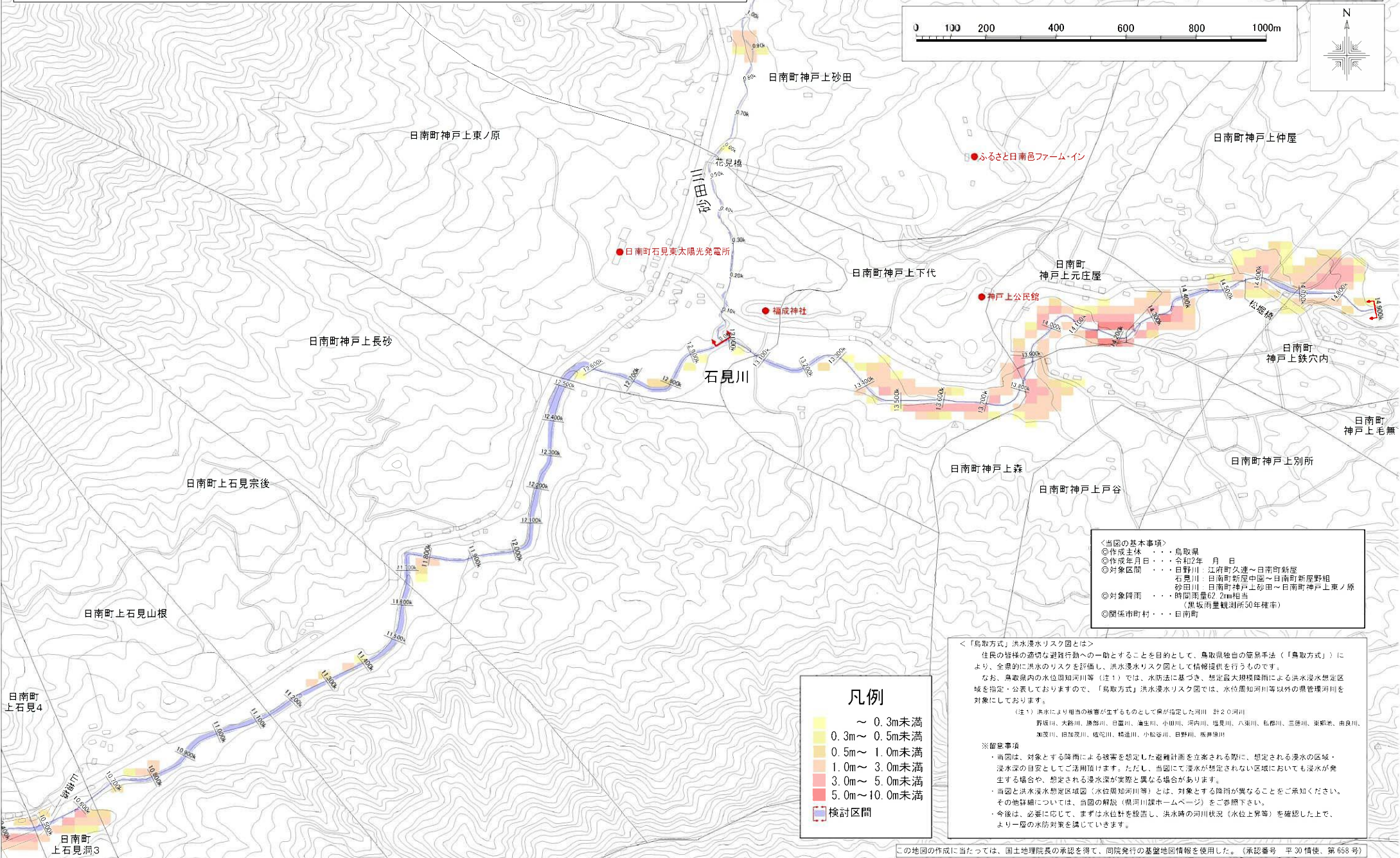
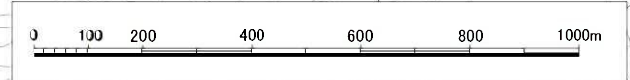
- ◎作成主体 …… 鳥取県
- ◎作成年月日 …… 令和2年 月 日
- ◎対象区間 …… 石見川・日野川合流点～日南町神戸上鉄穴内
- ◎対象降雨 …… 時間雨量62.2mm相当
 （鳥坂雨量観測所50年確率）
- ◎関係市町村 …… 日南町

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用した。（承認番号 平30情使、第658号）



「鳥取方式」洪水浸水リスク図【日野川水系石見川上流部、砂田川】

図郭22



＜当図の基本事項＞
 ◎作成主体・・・鳥取県
 ◎作成年月日・・・令和2年 月 日
 ◎対象区間・・・日野川 江府町久連～日南町新屋
 石見川 日南町新屋中国～日南町新屋野根
 砂田川 日南町神戸上砂田～日南町神戸上東ノ原
 ◎対象降雨・・・時間雨量62.2mm相当
 (黒板雨量観測所50年確率)
 ◎関係市町村・・・日南町

凡例

Yellow	～ 0.3m未満
Orange	0.3m～ 0.5m未満
Light Red	0.5m～ 1.0m未満
Red	1.0m～ 3.0m未満
Dark Red	3.0m～ 5.0m未満
Very Dark Red	5.0m～ 10.0m未満
Blue outline	検討区間

＜「鳥取方式」洪水浸水リスク図とは＞
 住民の皆様への適切な避難行動への一助とすることを目的として、鳥取県独自の簡易手法（「鳥取方式」）により、全体的に洪水のリスクを評価し、洪水浸水リスク図として情報提供を行うものです。
 なお、鳥取県内の水位周知河川等（注1）では、水防法に基づき、想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域を指定・公表しておりますので、「鳥取方式」洪水浸水リスク図では、水位周知河川等以外の県管轄河川を対象にしております。
 （注1）洪水により相当の被害が生ずるものとして県が指定した河川 計20河川
 野根川、大務川、藤原川、日置川、備前川、小田川、河内川、堀見川、八瀬川、私蔵川、三徳川、東郷川、由良川、加茂川、揖加茂川、佐心川、精進川、小松谷川、日野川、板井川
 ※留意事項
 ・当図は、対象とする降雨による被害を想定した避難計画を立案される際に、想定される浸水の区域・浸水深の目安としてご活用頂けます。ただし、当図にて浸水が想定されない区域においても浸水が発生する場合があります。
 ・当図と洪水浸水想定区域図（水位周知河川等）とは、対象とする降雨が異なることをご承知ください。その他詳細については、当図の解説（県河川課ホームページ）をご参照下さい。
 ・事後は、必要に応じて、まずは水位計を設置し、洪水時の河川状況（水位上昇等）を確認した上で、より一層の水防対策を講じていきます。

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用した。（承認番号 平 30 信使、第 668 号）